



いすみ市と横芝光町で出前あすなろ塾を開催いたしました。いすみ市では「『集団を育てる』学級づくり」と「生徒指導の視点を生かした授業づくり」について、横芝光町では「保護者との関係づくり」、「分かる・できる授業づくり」をテーマとした研修を行いました。

当日は講話に加え、グループでの演習も多く行われ、受講者の先生方が、悩みを共有し合ったり、新たな視点を学んだり、実り多い研修となりました。

いすみ市（令和6年7月30日）

当日の様子と 参加者の声



授業について、普段考えられていなかった視点から授業について見つめ直すことができました。生徒指導という観点からも授業を見つめ直していきたいです。



生徒指導や授業、信頼関係は、それぞれが一つ一つあるのではなく、全てが繋がっていると学びました。

学んだことをこれから活かして、誰からも信頼される教員になりたいです。



今回の研修を受け、教師の言動一つ一つに大きな影響力があり、それが生徒の能力の成長を決めると感じました。生徒の個性や可能性を伸ばすためにも、自己肯定感を伸ばす声かけを心掛けます。

横芝光町（令和6年8月6日）

当日の様子と 参加者の声



具体的な例が多く、とても学びが多い研修でした。また、町内で若年層の関わりがほぼないため、グループでの演習で意見交換をすることができてよかったです。



一年目でわからないことばかりなので、このような具体的な保護者対応の仕方や、授業についての研修が本当に助かります。これからもこのような研修がもっとあると嬉しいです。



児童より保護者で苦労していたので、教わった内容を活かして、信頼関係を築いていけたらと思います。

授業づくりでは導入部分で「やってみたい!」とやる気を引き出せるようにします。